

2022 年 6 月 21 日

各 位

会社名 トピー工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 高松 信彦
(コード：7231 東証プライム・名証プレミア)
問合せ先 執行役員総務部長 酒井 哲也
(TEL. 03-3493-0777)

北越メタル株式会社（当社持分法適用関連会社） における定時株主総会の結果に関するお知らせ

当社の 2022 年 5 月 27 日付「北越メタル株式会社（当社持分法適用関連会社）に対する株主提案に関するお知らせ」（以下「本株主提案リリース」といいます。）においてお知らせしたとおり、当社は、当社の持分法適用関連会社である北越メタル株式会社（東京証券取引所スタンダード市場上場・証券コード：5446。以下「北越メタル」といいます。）の中長期的な企業価値向上という観点から適切な取締役会の構成とすべく、新たな経営人材及び独立社外取締役の選任を求め、同社の本年 6 月 21 日開催の第 106 回定時株主総会（以下「本定時株主総会」といいます。）において、①取締役 3 名選任の件、及び、②補欠監査役 1 名選任の件の 2 つの議題に関する株主提案（以下「本株主提案」といいます。）に関する株主提案権を行使しておりました。

また、当社は、北越メタルが本定時株主総会に付議することとした会社提案（以下「本会社提案」といいます。）の取締役選任議案及び補欠監査役選任議案について、当社の 2022 年 5 月 31 日付「北越メタル株式会社（当社持分法適用関連会社）の第 106 回定時株主総会の会社提案議案に対する当社の議決権行使の方針に関するお知らせ」においてお知らせいたしましたとおり、北越メタルの中長期的な企業価値向上の観点から、取締役候補者である武仲康剛氏、米田康三氏及び中野久氏、ならびに補欠監査役候補者である大倉正寿氏には反対の議決権行使を行う予定であること、取締役候補者である棚橋章氏及び小倉克彦氏には賛成の議決権行使を行う予定であることをお知らせするとともに、株主の皆様に対して、当社の上記方針にご賛同いただくようお願いしておりました。

本日、北越メタルにおいて、本定時株主総会が開催され、下記のとおり決議されたことにより、当社が本定時株主総会において本株主提案及び上記方針によりご提案した取締役会の構成が実現されることとなりましたので、お知らせいたします。

北越メタルの株主の皆様におかれましては、当社の本株主提案及び上記方針にご賛同をいただきましたことに、心より深く感謝申し上げます。当社といたしましては、同社のガバナンス体制の整備等に向けて、独立社外取締役等の追加選任を早期に求めるほか、引き続き、当社と北越メタルの事業上の協力体制の維持・強化を図ることにより、北越メタルの中長期的な企業価値の向上を実現してまいりたいと存じますので、同社の運営に関し、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 本株主提案の決議結果

① 取締役3名選任の件（本定時株主総会における第4号議案）

原案どおり承認可決され、大洞勝義氏、竹内征規氏及び天川一彦氏が北越メタルの取締役に選任されました。

② 補欠監査役1名選任の件（本定時株主総会における第5号議案）

原案どおり承認可決され、中村毅氏が北越メタルの補欠監査役に選任されました。

2 北越メタルによる本会社提案の決議結果

① 取締役5名選任の件（本定時株主総会における第2号議案）

棚橋章氏及び小倉克彦氏を候補者とする議案は可決され、同氏らが北越メタルの取締役に選任されました。なお、武仲康剛氏、米田康三氏及び中野久氏を候補者とする議案は否決され、同氏らは本定時株主総会の終結の時をもって、任期満了により北越メタルの取締役を退任しました。

② 補欠監査役1名選任の件（本定時株主総会における第3号議案）

否決されたため、大倉正寿氏は北越メタルの補欠監査役に選任されませんでした。

3 今後の方針

当社といたしましては、新たに選任された取締役を通じて、当社と北越メタルとの間の事業上の協力体制の再構築を図り、本株主提案リリースの別紙2（別紙として再掲いたします。）において掲げた各施策を実現することで、北越メタルの技術力・現場力を向上させ、同社の企業価値の向上に努めてまいりたいと存じております。

また、本株主提案リリースにおいてお知らせいたしましたとおり、当社は、北越メタルの少数株主の利益を保護するためのガバナンス体制の整備・強化を図る所存であり、北越メタルの経営陣を監督する独立社外取締役の追加選任を求める所存であります。併せて、北越メタルの従業員のモチベーションの向上のためにも、北越メタルの事業に精通した同社従業員出身の取締役を経営陣幹部として選任することが必要不可欠であると考えており、その追加選任を求めてまいります。さらに、北越メタルにおいて現在選任されていない独立社外監査役の選任も行う必要があると考えており、これらの選任に向けて、準備を進めてまいります。

以 上

(別紙) 協力体制の維持・強化によるメリット

協力体制の維持・強化によりメリットのある事項	ソリューション (七つの共有)	具体策・期待効果など
1 設備老朽化対策（製鋼工場） ・電気炉更新に関する検討 ・環境・省エネルギー対応	【技術的支援Ⅰ】 トピーグループの設備新設・改造に関する知見・ノウハウの共有	トピー工業では「新製鋼検討室」「新製鋼建設室」の２段階体制で新製鋼工場を円滑に立ち上げた実績があり、その知見・ノウハウを北越メタルと共有することにより、安定操業上の課題解決を進めることが可能。
	【技術的支援Ⅱ】 トピーグループの生産技術に関する知見・ノウハウの共有	北越メタルとの「技術交流会」の開催や北越メタルの「トピーグループ技術研究会」への参加により、生産技術に関する知見・ノウハウの蓄積が可能。
2 技術開発 (1)技術人材の不足・採用難 (2)基礎研究等による技術力の底上げ	【人的支援(技術)】 トピーグループ人材の共有	トピーグループ内での体系的なジョブローテーション。 ※R&D 部門へのローテーションも含む。
	トピーグループ経営資源の共有	北越メタルの製品開発にトピーグループ R&D 部門を活用。 ※過去には、CORMILL 解析を使用して北越メタルの製品開発をサポートした実績あり。
3 安全活動 安全対策のさらなる推進（自社の安全管理に外部目線を加えた安全衛生水準の向上に向けた取り組みが肝要）	トピーグループの安全活動に関する知見・ノウハウの共有	北越メタルがトピーグループの「グループ安全衛生連絡会」（対象 20 社超）及びその安全活動に今後も参加することにより、安全活動に関する、知見・ノウハウを共有し、安全成績の向上が可能（一社だけで安全管理を行うのではなく、同業他社や他業種の安全活動を取り込むことで、より高度な安全活動が可能）
4 脱炭素化への対応・資源循環 北越メタルが「Metal Vision2030」で目指している環境に優しい地域循環型社会の実現のためにはグループの経営資源を共有することが望ましい	トピーグループ経営資源の共有	北越メタルとトピーグループのリサイクル事業会社二社（明海リサイクルセンター、トージツ）との連携による資源循環型社会への貢献
	トピーグループの CN（カーボンニュートラル）推進活動に関する知見・ノウハウの共有	北越メタルがトピーグループの CN 推進活動に参加し、CO ₂ 削減施策を共有することにより、CO ₂ 削減目標の達成を目指す。 ※トピーグループでは 2021 年 6 月に「カーボンニュートラル(CN) 推進協議会」を立ち上げて、CO ₂ 削減等の環境取り組み活動を推進中。